



自然共生社会の構築

国内外で進む化学物質の規制強化や法整備に対応していくとともに、製品開発と生産工程の両面で環境負荷物質の低減を進めています。また、生物多様性保全の活動や地域への貢献活動を通じて、自然と共生する社会の実現に向けた取り組みを展開しています。

環境保全・生物多様性保全の推進

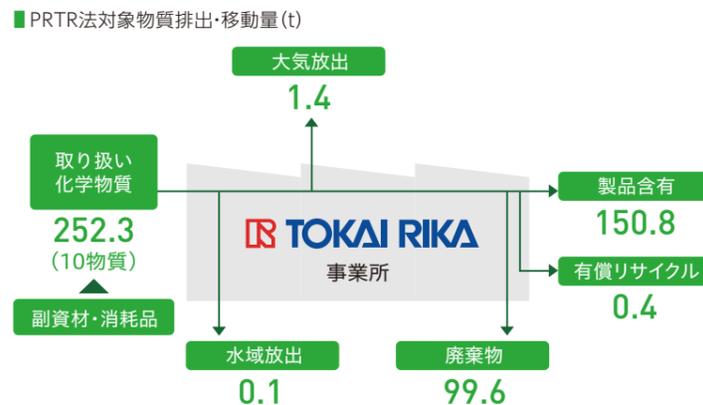
持続可能で自然と共生する社会をめざして、生物多様性の取り組み指針を定め、東海理化グループ全体で活動を推進しています。

生物多様性の取り組み指針

指針	実施事項	指針	実施事項
① 社会と連携し自然を育む	<ul style="list-style-type: none"> 地域やオールトヨタとの協働による多様性を育む社会づくり 啓発による社員の意識高揚と行動の促進 	③ 自然と共生する事業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 水域保全、CO₂低減、資源循環、環境負荷物質低減
② 自然にやさしい技術の導入	<ul style="list-style-type: none"> 軽量化・リサイクル配慮設計、化学物質管理 	④ 積極的な情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み内容の発信

生産活動における環境負荷物質の低減

人や環境へのリスクを低減していくため、材料の切り替えや塗装工程改善など、環境負荷の高いVOC(揮発性有機化合物)やPRTR法対象物質の低減に取り組んでいます。



地域貢献につながる生物多様性の取り組み

東海理化グループでは、植樹や外来種駆除など、生物多様性保全の取り組みを地域や行政と連携して行っています。2019年度は、本社・本社工場では、近隣企業と協働し、特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除活動を実施しました。また、TRT(タイ)では、植樹プロジェクトを立ち上げ、社員300名により、地域の在来種5,800本の植樹を行いました。その他にも、ラムサール条約に登録されている矢並湿地や汐川干潟の保全など、各拠点で地域貢献となる取り組みを行っています。



オオキンケイギク駆除活動 在来種を用いた植樹活動(タイ)



矢並湿地保全活動 汐川干潟クリーンアップ活動

銀色材着加飾による有機溶剤の低減

ステアリングホイールスイッチの操作部は、デザイン性を向上するために銀色塗料で塗装をしていましたが、同じ色調の樹脂材で成形することで、従来塗料の使用が不要となり、有機溶剤の使用量を低減しました。



自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進

「自然・地域と共生する企業をめざす」を経営理念に掲げ、地域への継続的な貢献活動を通じて、周辺環境を保全する取り組みを進めています。

製品含有化学物質管理の充実

東海理化グループでは、化学物質規制の各国動向を把握し、製品含有化学物質に配慮した設計を開発段階から行っています。

ノニルフェノールエトキシレートの切り替え推進

スイッチ製品と意匠パネルで使用する接着剤には、REACH規則の対象物質であるノニルフェノールエトキシレートが含まれているため、非含有の接着剤へ切り替えを行いました。



地域清掃活動

東海理化では、各拠点で地域の清掃活動を継続的に行っています。豊田工場では工場から最寄り駅までの地域を、恵那東海理化では工業団地内の公園や道路の清掃活動を行っています。また、本社・本社工場や音羽・萩工場では、工場周辺の清掃活動を、行政と協働で取り組むアダプトプログラムに登録して行っています。



豊田工場清掃活動 恵那東海理化清掃活動



本社・本社工場清掃活動 音羽工場清掃活動